



Point of Study

経済成長や景気変動の要因とは何か。また、経済活動の見方であるフローとストックの違いとは何だろうか。

*1 経済成長率

物価の変動を含めた成長率を名目経済成長率という。これに対して、物価の変動をとりのぞいたものを実質経済成長率という。

*1年間の経済成長率は次のように算出する。

経済成長率

$$\frac{\text{本年度GDP} - \text{前年度GDP}}{\text{前年度GDP}} \times 100(\%)$$

*2 物価

物価とは、財・サービス価格の平均的な水準。消費財の物価は消費者物価指数で、機械設備や原材料費など、生産活動に関係する財の物価は、企業物価指数であらわされる。

②原材料費や人件費の上昇によるコスト・プッシュ・インフレや需要超過によるデマンド・プル・インフレなどがある。

5

経済成長と国民の福祉

経済成長と景気変動

GDPの値が大きくなることを**経済成長**、そのp.84 ▶Q&A p.85

の1年間の増加率を**経済成長率***1という。経済成長は、付加価値の合計を大きくするから、賃金・給与や利潤といった分配所得も増えることが期待される。

経済成長をもたらす要因には、さまざまなものがある。たとえば、新しい技術が登場すると、企業はいちはやくそれを導入しようとして、いっせいに設備投資(資本蓄積)をおこなう。その結果、生産活動が活発になって、経済が成長する。企業の設備投資は、経済成長の最も大きな要因である。しかし、労働者が不足したのでは、生産活動は続けられない。一定の教育・技能水準をもった労働者が多数存在することも、経済成長の大きな要因である。また、労働者の所得が低く、需要が少なければ、製品をつくっても余りだけになる。所得分配の公平性も、経済成長を左右する大きな要因になる。

現実の経済では、経済成長が単調に進むことはない。新技術などは、いっせいに導入されるので、経済成長率は一時的に高くなる(好況)。この間、生産と雇用はともに増え、需要が供給を上まわって、物価が上昇を続ける**インフレーション**(インフレ)がおこることもある。やがて製品が過剰になると、景気後退がはじまる。生産と雇用が縮小し、経済活動が全体的にとどこおり、経済成長率は低下、またはマイナスになる(不況)。物価が下がり続ければ**デフレーション**

インフレ・デフレの生活への影響

なるほど Q&A



13

サキ●インフレやデフレは、わたしたちの生活にどのような影響を及ぼすのでしょうか？

先生●まずインフレのときは、ものの値段がどんどん高くなっていくから、収入がかわらない場合には、生活が苦しくなってしまうよね。

サキ●では、インフレと同じスピードでお給料が上がっていけば、問題ありませんね。

先生●そのとおりといたいけど、そういう企業はほんの一部で、大部分の企業はインフレ率と同じほど給料を上げられない。また、年金生活者のように収入の決まった人は、いっぺんに生活が苦しくなってしまう。年金にも物

価を反映して支給額が調整されるしくみはあるけれど、調整には時間がかかるの。インフレはこのように、本人の努力とは無関係に、所得格差をひろげてしまうのよ。

サキ●では、デフレはその逆ですから、いいことなのですか？

先生●そう思われがちだけれど、デフレになると、物価が下がり続ける結果、企業の収益が減って人員整理がおこなわれたり、企業が倒産して失業者が増えたりするの。正常な経済活動にとっては、物価はなるべく安定していたほうがいいでしょうね。

(デフレ)になり、場合によっては恐慌^{きょうこう}に発展する。しかし、過剰な生産物が整理されれば、生産活動が再開され、雇用も増加しはじめ、景気回復に向かう。資本主義経済は、このような景気変動^{けいきへんどう}をくりかえしながら、営^{いとな}まれている。



キーワード

グリーンGDP

KEY WORD

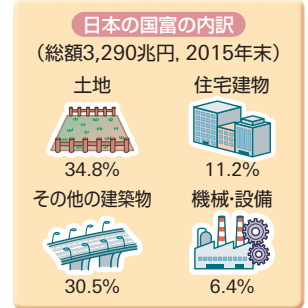
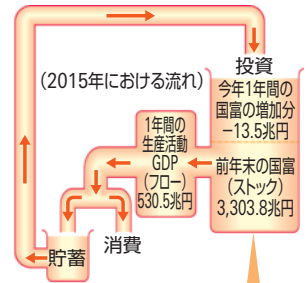
GDPは経済活動にともなう環境破壊や健康被害を考慮していない。これでは真の豊かさの尺度にはならないという考えから、環境への負荷を数値化してGDPからさしひいたものを、一般にグリーンGDPという。

5 **フローとストック** GDPのように、ある一定期間の経済活動の流れを**フロー**、ある一時点で計測できる資産の蓄積量を、**ストック**という。ストックのうち、天然資源をのぞき、土地や建物など有形資産と対外純資産を合計したものを**国富**とい

10 とくに、道路、鉄道、上下水道など、人々が共通して利用するものを**社会資本**という。日本では、生活に直結する社会資本の整備が、産業関係の社会資本に比べて、たちおくれているといわれる。わたしたちの生活には、フローとストックの、適度なバランスが必要である。

15 **豊かさ**とGDP GDPの限界にも、注意する必要がある。高い経済成長率を実現するいっぽうで、自然環境を破壊し、慣れ親しんできた風景を失ったとしても、それらが財・サービスのよな市場価格をもたないかぎり、GDPには反映されない。GDPには、わたしたちが「豊かさ」を感じるもののすべてが含まれているわけではない。こうした点を反映させようと、**NNW** (国民純福祉^{net national welfare})や、**グリーンGDP**といった指標も開発されている。

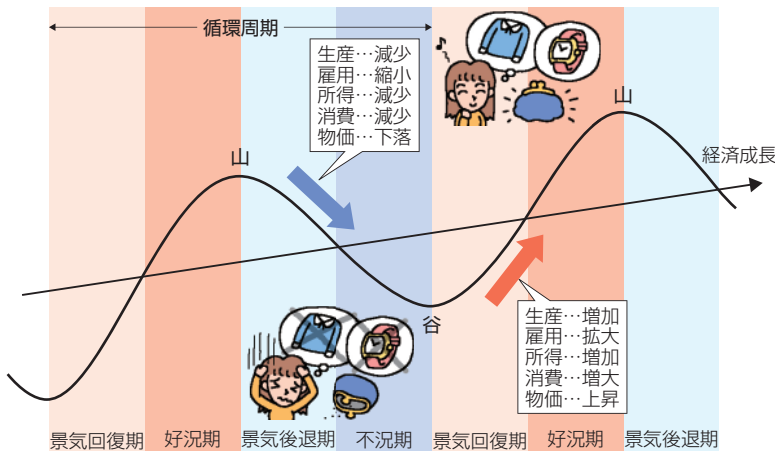
20 わたしたちは、それぞれの指標が何ををはかり、何ををはかるものでないかを正しく理解し、真の「豊かさ」とは何かを考えていく必要がある。



2 国富とGDPの関係

***3 1人あたりGDP**
GDPを人口数で割った値。GDPは1国全体の経済規模をはかるのに対して、1人あたりGDPは国民の平均的な経済的豊かさを示すものとして、国際比較などにおいて重要な指標になる(→p.2)。

***4 NNW**
余暇や自由時間をプラスの要因に、環境破壊などをマイナスの要因としてGDPに加算し、国民生活を福祉的な側面から評価しようとする指標。



名称	周期	おもな要因
キチンの波(短期波動)	約4年	在庫の変化
ジュグラの波(中期波動)	約10年	設備投資の変動
クズネットの波	約20年	住宅や工場などの建てかえ
コンドラチェフの波(長期波動)	約50年	技術革新、資源の大規模な開発

1 景気変動の4局面と波動の種類